



博物館だより リイシリ

令和6年
359号

2/26
START

第52回移動展示 博物館ニュース 2023

内容

第52回移動展示「博物館ニュース2023」を開催します。2023年度の当館の活動や調査、館内で話題となったニュースを紹介いたします。利尻島の自然や歴史、資料に関する情報や写真とともに一部実物資料も展示予定です。パネル2枚と気軽にご覧いただけるのではないかと思います。会場のお近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

場所・日

■ 仙法志郵便局
2月26日～
3月3日

発行：利尻町立博物館

住所 〒075-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町136
電話 0163-85-1411
FAX 0163-85-1282
e-mail riishirwmuseum@own.riishiri.hokkaido.jp

移動展示 開催日程

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	29	3/1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	30
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

- 利尻ふれあい温泉
3月4日～ 10日
 - 交流促進施設「どんと」
3月11日～ 18日
 - 駕泊フェリーターミナル
3月19日～ 25日
- 時間については各施設の館・営業時間に準ずるものとします。

博物館事業報告

池の生き物観察会

沓形の森林公園には小さな人工池があり、季節に応じて、様々な生物を観察することができます。当館では7月29日に、この池の生き物を観察する観察会を開催しました。参加者のみなさんと一緒に、池の中にある生物をたも網やプランクトンネットですくい、生物の採集を行いました。水生昆虫やエゾアカガエルのほか、ミジンコ類などが採集され、体の形の観察を行うことができました。

今後当館では池や沼などの水生生物の調査を継続するとともに、観察会を開催したいと考えていますので、小さな水生生物たちをぜひじっくり観察しましょう。また、お散歩などで池や沼を訪れた際には、足を止めて、小さな生物たちの姿を観察してみても楽しいかもしれません。

外来種防除会

7月17日に駕泊でコバノハイキンポウゲの防除会を開催しました。コバノハイキンポウゲは北麓野営場～甘露泉水の歩道に、工事の際に侵入したと考えられている外来種です。一時間半程度作業を行い、スタッフを含む13名で1431本も抜くことができました。昨年度、抜き取った場所を見てみると、株数が減少しているのが確認でき、継続的に活動を行うことの重要性を再認識。機会があれば、ぜひみなさんもご参加いただければ幸いです。



防除作業の様子。コバノハイキンポウゲは歩道の両脇に生えています。

利尻島や道北の水生生物を調べよう！

今年度、当館では北海道大学から「次世代研究者リーダー育成共同研究助成」を受け、研究代表者である同大学の角井敬知講師のご協力のもと、利尻島の水の中にすむ生物（水生生物）の多様性の解明を目指して研究を行うとともに、道北地域における生物多様性の研究拠点化を目的に、研究環境の整備や普及活動を行っています。

この事業では、研究環境の整備の一環として、生物の体のDNA塩基配列を決定するための実験設備の導入を行いました。DNAは4種類の塩基という物質が長く連なってできた鎖のようなものです。塩基の並び方（塩基配列）は生物個体や種、グループによって異なる部位があります。今回、当館で部分的に塩基配列を決定できるようになることで、利尻島の生物をより詳細に記録することができるようになります。決

定した塩基配列は、インターネット上に公開されている他の研究者が決定した配列と比較することで、どんな生物と近縁なのか、どうやって進化してきたかなどを調べられることもできるなど、形だけを観察するよりも研究の幅が広がると考えています。

また、来館者の皆さんが利用できる設備として、標本を観察するデジタルマイクロスコープ（顕微鏡）の導入を行いました。水生生物は小型で観察が難しいことが多いのですが、顕微鏡を使って、小さな生物たちに親しんでいただければ嬉しいのです。現在は担当学芸員が在館しているときに、観察することができまので、ご希望の方は窓口へお声がけください。

当館ではこれまで利尻島の生物相の理解を目指し、生息状況や標本の収集などを行ってきました。今後は新しい研究設備を用いて、より詳しく調査、記録を行いたいと考えています。



新しく導入された顕微鏡。現在はウニなどの棘皮動物を観察できます。見慣れている生物でも細かいところを観察すると、新たな発見もありますよ。

北海道大学の角井敬知講師には、本研究にご尽力いただいただけでなく、この記事の執筆や校正にもご協力いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

冬季の開館状況について

利尻町立博物館前の道道（108号）杓形仙法志駕泊線が通行止めの際をはじめ、悪天候の場合や災害時、吹き溜まりなどにより路面状況が悪く開館が困難であると判断された場合には予告なしに休館することがございます。開館状況につきましては、道路交通情報をご確認いただくほか、当館（0163-85-1411）までお問い合わせください。

傷病鳥保護

2023年9月～2024年1月は7件の対応を行いました。

- アカエリヒレアシギ、9月5日、杓形運動公園野球場、小玉喜衛さん
- ツミ、9月8日、南浜、田牧和弘さん
- マミチャジナイ、9月27日、仙法志小学校、関谷克志さん
- ウグイス、10月16日、利尻町役場、佐々木来さん
- アオジ、10月21日、蘭泊、佐藤雅彦さん
- イスカ、10月26日、杓形大志館、桂明子さん
- シジュウカラ、12月22日、仙法志ほのぼの荘、大窪知史さん

リイシリ購読・閲覧

利尻町内の方には無料でお届けしています。町外の方は一部につき郵送料84円のご負担で定期購読が可能です。メール配信も行っております。定期購読については当館までお気軽にお問い合わせください。

なお、本誌は博物館のホームページでも閲覧可能です。最新号のほか、過去2年分のバックナンバーも公開中です。下のQRコードからアクセスしてください。

QRコードからアクセスしてください。



スマホでアクセスできます！

